

令和2年度「施政方針」施策の実績内容

令和2年度施政方針に掲げられた施策・事業の取り組み実績は次のとおりです。

年度末実績自己評価 : ○予定通り実施済、△コロナ禍による一部未達成、▲一部未達成、×未達成、－その他(中止)

R2施策(事業)名	R2施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆健康福祉施策					
①子育て支援	<p>子育て支援施設「子育て支援センター あいあい」において、「地域子育て支援拠点事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」、「利用者支援事業」を実施し、保健センターとも連携を図りながら、一層充実した子育て支援を行います。</p> <p>また、保護者の経済的負担の軽減を図るため、3歳児以上の就学前児童の保育園等保育料の無償化や、中学校卒業までの医療費の保険適用に対する自己負担分の助成を行います。</p>	<p>子育て支援センター あいあい等において各種の子育て支援事業を実施しました。新型コロナウイルスのため、4月～6月15日閉館、以降予約制、人数制限をしておの開館としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点利用者数(あいあい)延べ3,463人 (しょうえんこどもこそだてルーム)延べ348人 ・利用者支援事業 相談件数 464件 閉館中の電話相談141件 (乳幼児健診年7回、しょうえんこどもこそだてルーム巡回相談年2回実施) ・ちばMyStyleDiaryの配信 ・ファミリー・サポート・センター事業 利用会員61名 協力会員22名 両方会員6名 実施件数27件 <p>幼児教育・保育無償化(幼児教育認定は満3歳児から、保育認定は3歳児から保育料等を無償化にしました。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設等利用給付認定 私立幼稚園8園/利用児童数85人・認可外保育園1園/利用児童数1人 ②施設型給付1号(教育標準時間)認定 私立認定こども園4園/利用児童数91人 ③施設型給付2号(3歳児以上保育)認定 公・私立保育所8園/186人 <p>子ども医療費助成事業(出生から15歳の年度末までの子どもの保険診療に対応する医療費について助成しました。)</p> <p>課税世帯「入院」200円/1日・「通院」200円/1回・「調剤」0円/1回 非課税世帯(市町村民税所得割非課税まで)「入院」無料・「通院」無料・「調剤」無料 支給対象児童2,319人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの対策を取りながら、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、ファミリーサポートセンター事業により、ストレスの緩和や育児不安の軽減が図られました。 ・子どもの医療費に対する助成に加え幼稚園授業料や保育料の無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られました。 	○	こども課

②移動支援	<p>高齢者などの日常生活を支援するため、町社会福祉協議会に委託してふれ愛タクシーを運行するほか、重度の障害者や、要支援2又は要介護認定を受けている方に福祉タクシー料金の一部を助成します。</p> <p>また、運転免許証を有していない満75歳以上の方や、運転免許証を自主返納された70歳以上75歳未満の方に、タクシー利用助成券を交付します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しすいふれ愛タクシー運行業務 利用人数 9,318人 ・平成31年4月から要支援2以上の方を含め、福祉タクシーを利用する際に運賃の一部を助成しました。 交付人数 124人 利用回数 1,499回（2月請求分まで） ・運転免許証を有していない満75歳以上の方などが、町内の移動にタクシーを利用した際に運賃の一部を助成しました。 交付人数 394人 利用回数 5,145回（2月請求分まで） ・平成31年4月1日以降、運転免許証を自主返納した70歳以上75歳未満の方に、町内の移動にタクシーを利用した際に運賃の一部を助成しました。 交付人数 6人 利用回数 58回 	<p>高齢者等の外出しやすい環境づくりが図られました。</p>	○	健康福祉課
③生きがい支援	<p>老人福祉大会や、80歳の青年式を開催するほか、婚姻後50周年を迎えたご夫婦に記念品を贈ります。</p>	<p>(老人福祉大会) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 88歳のお祝い 長寿者顕彰状及び記念品 77人</p> <p>(80歳の青年式) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>(結婚50周年夫婦記念品支給事業) 令和2年1月から令和2年12月に、結婚50周年を迎えるご夫婦及び平成18年1月から平成30年12月に結婚50周年を迎えたご夫婦に写真店でご夫婦の写真を撮影できる引換券を交付しました。 申請件数 68組</p>	<p>(老人福祉大会) 大会を楽しみにしている高齢者も多く、健康で明るく暮らすことに繋がります。</p> <p>(80歳の青年式) 会場に参加された方々から健康の秘訣を伺い、いつまでも自立した健康で明るい生活を営むことができるようなきっかけづくりとなります。</p> <p>(結婚50周年夫婦記念品) 人生100年時代、これからも夫婦がお互いを思いやりを持ちながら暮らしていけることにつながります。</p>	○	健康福祉課
④健康づくり	<p>各種検診、健康教育、健康相談等を行うとともに、特定年齢の方に乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウイルス検診及び40歳以上の方の歯科検診を無料で行います。また、健康づくりのための「教室や運動への参加」「特定健診・がん検診の受診」などに対して、ポイントを付与し特典を交付する「健幸ポイント事業」を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康手帳の交付 78冊 ・健康相談 来所者延べ116人、電話延べ31件 ・歯科健康相談 延べ16件 ・胃がん検診 915人 ・結核・肺がん検診 1,506人 ・大腸がん検診 1,980人(うち、クーポン211人)個別検診123人(再掲) ・乳がん検診 エコー46人 マンモグラフィ1方向200人 マンモグラフィ1方向クーポン65人 マンモグラフィ2方向クーポン68人 ・子宮頸がん検診 (個別)173人(うちクーポン73人) ・肝炎ウイルス検診 352人 ・成人歯科検診 61人 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人歯科検診の受診者数が増加しました。 ・健幸ポイント事業を実施したことにより、健康づくり教室等へ参加しようとする意欲が高まりました。(集団検診が中止となったものもあり)個別検診での受診者数が増加しました。 	△	健康福祉課

<p>⑤介護予防事業</p>	<p>地域で自主的に介護予防に取り組むサークルなどの活動支援のために、希望するサークルなどに講師の派遣や、地域での介護予防を広げるために、しすいハート体操の普及の促進および介護予防グループのリーダー養成を行います。</p>	<p>令和2年度予定していた介護予防事業の講座・教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と町民の健康を最優先し中止しました。 広報6月号にて講座・教室の参加者を募集し、申し込みのあった延べ44名(実人数29名)には、6月30日に中止連絡の通知と併せて、自宅で「しすいハート体操」ができるように、町のホームページで動画を公開している旨のお知らせと「しすいハート体操」リーフレット、自宅で簡単にできる運動の資料を送付しました。 また、「しすいハート体操」は、町のホームページで動画を公開している旨、広報8月号と10月号で周知しました。さらに国立研究開発法人国立長寿医療研究センターが開発した「オンライン通いの場」アプリについて広報3月号で周知しました。</p>	<p>保健センターで教室を行うことはできませんでしたが、申込者にしすいハート体操の資料や動画の案内をしたことにより、一定の効果はありました。 また、一般の方に対して広報に複数回掲載し、家庭でできる体操として周知ができました。</p>	<p>△</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑥地域包括ケアシステム</p>	<p>団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、地域で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の構築が求められていることから、引き続き社会福祉法人鼎に在宅医療・介護連携や、認知症総合支援事業をはじめとする各種地域支援事業を委託し、在宅介護への支援体制強化を図ります。</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築実現に向け、下記の地域支援事業を地域包括支援センターへ委託しました。 ①在宅医療・介護連携推進事業 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多職種連携の会の開催を見送りました。そのため、広報誌「多職種連携の会たより第1号」を作成し関係機関等に配布しました。内容は新規開業した医院や高齢者施設の感染防止対策、これまでの多職種連携の会の取り組みについてであり、医療介護連携の推進のための情報提供を行いました。「多職種連携の会たより第2号」を3月に発行しました。 ②認知症総合支援事業 ・認知症初期集中支援チーム員会議については、4月、6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できませんでしたが、8月から再開し、10月・12月の3回開催しました。検討件数延べ10件。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため「しすいオレンジカフェ」の開催は中止しました。1月に人数を制限するなどして開催することを検討していましたが、緊急事態宣言のため中止といたしました。 ・認知症の理解を深めるため、認知症ガイド(第3版)を作成し、関係機関等に配布しました。 ・認知症についての啓発チラシ「認知症ってなんだろう」を作成し、高齢化の進む地域に配布しました。東酒々井1～6丁目・中央台1、4丁目・上本佐倉1丁目 合計2,877部配布。公共機関 合計130部配布。 ③地域ケア会議推進事業 ・会議に諮る課題を抽出し、個別会議を4回実施するところ2回実施、未実施の個別会議2回と推進会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。 ④生活支援体制整備事業 ・協議体を4回開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休会となっている活動団体へのアンケートを行い、今後の活動について話し合いを行いました。 ・生活支援コーディネーター便りを作成し配布しました。</p>	<p>①多職種連携の会自体は開催できない状況が続いている中で、取り組みを風化させないために周知を行っています。 ②オレンジカフェのように集まることは難しい状況ですが、初期集中支援チームや相談などの個別の対応は継続して行っています。また、講演会は開催できない状況ですが、チラシ等を作成し、配布することにより啓発を行っています。 ③個別会議を開催するために、地域の問題点を洗い出すことができました。 ④事業への理解が少しずつ進み、協力していただける住民が増えています。</p>	<p>△</p>	<p>健康福祉課</p>

⑦母子保健	<p>妊娠届け時に親子すこやかプランの作成や、妊婦健診、乳幼児健診、マタニティ・ママパパークラス、訪問指導、心理発達相談などの事業を通して切れ目のない支援を行い、安心して妊娠、出産、子育てが行えるよう、包括的な支援を行います。</p> <p>また、出産祝品として絵本を配布する「ブックスタート」や「不育症治療費助成事業」、「ママ・パパ歯科検診」、「妊婦・乳児支援タクシー事業」の実施など、町独自の子育て支援施策を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付 98件 ・新生児訪問指導 75件 養育支援訪問 実3件 ・マタニティ・ママパパークラス(3コース実施)実人数(妊婦 17人 家族14人)延べ54人 ・乳児相談 4か月児 対象者 60人 参加者 51人(85.0%) 10か月児 対象者 80人 参加者 63人(78.8%) ・1歳6か月児健康診査 対象者 74人 受診者 67人(90.5%)4回実施 ・2歳児歯科健康診査 対象者 87人 受診者 71人(81.6%)3回実施 ・3歳児健康診査 対象者 125人 受診者 112人(89.6%)6回実施 ・幼児健診事後指導 6回実施 11組 ・親子相談 15回実施 延べ 22組 ・ことばの教室 24回実施 延べ 75人 ・ブックスタート 81組 ・なかよしはみがき教室 7回実施 対象者 年長組98人 (酒々井幼稚園:23人、岩橋保育園:28人、中央保育園:8人、昭苑こども園:39人) ・ママ・パパ歯科検診 ママ18人 パパ6人 ・妊婦乳児支援タクシー利用券発行 67人 	乳幼児期から幼児期までを主に保健事業を通して、切れ目のない支援を実施しました。	△	健康福祉課
-------	---	--	---	---	-------

◆教育文化施策

①学校教育の充実	<p>中学校のスポーツ環境の改善を図るため、グラウンド拡張整備に向けた調整等を行います。</p>	<p>テニスコート整備(新設)に向け、事業費の一部とする助成金を確保するとともに、整備費の抑制を図るため、事業内容の精査を行いました。助成金の確保を受け、補正予算措置を行い、一般競争入札の実施、町議会の議決を経て工事着工し、3月末までに工事が終了しました。工事内容は、砂入人工芝コート5面・照明設備・駐車場・周回路・給排水設備の整備等です。</p> <p>また、今後のグラウンド拡張整備に向けて、必要な用地を購入するにあたり、地権者に事業説明等を行いました。</p>	テニスコートの整備は、グラウンド拡張事業のスタートとなる重要な事業であるため、今後の進展に向け大きな一歩となりました。また、費用面では、助成金の確保、事業内容の精査をしたほか、当初予定していたよりも有利な起債を確保し、一般財源の抑制を行いました。	○	こども課
	<p>町独自の事業として、「学習指導等専門支援員配置事業」、「教育アドバイザー配置事業」、「学習活動支援員配置事業」のほか、今年度新たに、養護教諭が校外学習等で不在の時に学校へ出向き保健室の対応などを行う「学校保健支援教員配置事業」に取り組みます。</p>	<p>各小・中学校に計画どおり「学習指導等専門支援員」、「学習活動支援員」等を配置すると共に、「教育アドバイザー」を必要に応じて派遣しました。</p> <p>また、今年度から事業化した「学校保健支援教員配置事業」も4月から計画通り実施することができました。</p>	「学習指導等専門支援員」、「学習活動支援員」等の各小・中学校への配置により、きめ細かな指導・支援が実施できました。また、今年度からの「学校保健支援教員」の配置により、保健室に養護教諭不在という状態が減少し、児童生徒はもとより教職員が安心して学校生活を送ることができるようになりました。	○	学校教育課

<p>②酒々井学</p>	<p>地域学習等を通して「酒々井学」の学習プログラムを作成・実施し、子どもたちや教員の酒々井町に対するふるさと意識を育むための資質能力の向上を図ります。 また、「酒々井学」を計画的に推進するための副読本「いいね！酒々井」の活用を図るほか、昔の写真から視覚的に酒々井町の歴史を学ぶことを目的に「酒々井発見伝(指導用資料集)」を作成し、町全体で「酒々井学」を実践します。</p>	<p>コロナ禍のため学習内容は縮小されましたが、小学6年の「こども模擬選挙」・「町への願い発表会」・「酒々井の歴史物語」等の授業を学校側と連絡調整を行い9件実践しました。指導資料集「酒々井発見伝」については、町の既存資料を利用したり、地域住民や大学との協働による画像や地形図等の資料を効果的に導入して600部作成し、町の全教職員および町職員に配付することができました。</p>	<p>小学6年「酒々井のまちづくり」の実践では、選挙管理委員会による選挙についての解説を導入し、模擬選挙で選ばれた各校6名の代表児童が町長に向けて、「町への願い」を発表する活動を通して、主権者意識を育むことができました。「酒々井発見伝」作成により、町の教職員および町職員に向けて、町の歴史・文化・自然等の地域素材に関する情報提供をすることができました。</p>	<p>△</p>	<p>学校教育課</p>
<p>③一貫した外国語教育</p>	<p>小・中学校に1名ずつ配置しているALT(外国語指導助手)により、ネイティブな英語にふれることで、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力の向上を図り、児童生徒の確かな学力を育むとともに、保育園で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施します。 また、外国語教育の一環として、町立中学校の3年生全生徒を対象に、英語検定の検定料を助成する「パワーアップE」事業を継続するほか、外国語教育だけでなく、国語力を高める教育にも力を入れ、しっかりと日本の文化や歴史を世界に発信できる子どもたちを育てていきます。</p>	<p>各小学校へ1名ずつ英語専科教員を、各小・中学校へ1名ずつALT(外国語指導助手)を配置しました。 国際交流派遣事業は、8月にオーストラリアへ、9月にドイツへ中学生の派遣を予定、計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により中止としました。 パワーアップE事業として、中学校3年生182名の英語検定の検定料を助成しました。</p>	<p>小学校高学年では、学級担任、英語専科教員、ALTの3名での授業を通年で実施したことにより、特に書く力が向上し、アルファベットを全て正確に表記できる児童が増えました。 ALTの活用は、小学校でほぼ全ての授業で、中学校では、各クラス最低でも週1回の授業で計画的に実施することができ、児童生徒の聞く、話す力の向上を図ることができました。 国際交流派遣事業は、令和2年度において中止となってしまいましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が収まった後、速やかに再開できるよう準備を整えています。 パワーアップE事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で検定が1回しか実施できなかった結果、3級以上の取得率が41.2%と、昨年度より5.2ポイントの落ち込みとなっています。</p>	<p>△</p>	<p>学校教育課</p>

④学校給食	<p>児童・生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れたおいしい学校給食を実施し、学校給食を活用した食育の指導・推進を図り、児童・生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養います。特に、子供たちの郷土愛を育むため、町独自に酒々井町産の米や野菜、加工品の味噌などを購入し、地元産食材の利用を促進します。</p> <p>さらに、子育て世帯、特に多子家庭の保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き第3子以降の学校給食費を免除します。</p>	<p>栄養教諭による食に関する指導は、各小学校6年生を対象に「バランスの良い献立」をテーマに授業を行い、その後、リクエスト献立として給食に取り入れました。</p> <p>中学校では、町主任栄養士が11月の食育週間に校内放送で食育講話を実施し、併せて給食委員による残菜調査に協力しました。</p> <p>毎月、給食内容や栄養、健康面などのポイントをまとめた「給食センター通信」を作成し、給食時間の放送や学級の掲示物として活用しました。</p> <p>また、町広報(6月、11月、1月)に「センターからこんにちは」を掲載し、千葉県食材を使用した給食人気レシピを紹介しました。</p> <p>学校給食費の収納については、毎月末に口座振替を実施し、振替不納者に対し再振替通知を発送しました。未納者に対し督促等を行っています。</p> <p>2月末現在現年度収納率99.55% 第3子対象者123世帯(138人) 免除額計5,732,300円</p>	<p>小学校のバランスの良い食生活についての栄養教諭による授業で、児童自身で食の大切さや健康面、生産者など食に携わる者への感謝などを考えることができました。</p> <p>中学校の食育講和と給食委員の残菜調査では、生徒自身で成長期の食の大切さを考え、正しい理解や適切な判断力を養うことができました。</p> <p>毎月19日を「食育の日」とし、全国おいしいもの巡りとして、地方の郷土料理を取り入れ、また、給食日より、旬の野菜などをクイズ形式で紹介し、食育を推進しました。</p> <p>学校給食費の公会計化により、教職員の事務の負担を軽減することができ、保護者の利便性の向上が図られたことも高い徴収率となりました。</p> <p>児童手当からの代理納付制度の案内も容易になり、未納費の抑制となっています。</p> <p>第3子以降の学校給食費を免除したことにより、子育て世帯、特に多子家庭の保護者の経済的負担の軽減が図られました。</p>	○	給食センター
⑤国史跡本佐倉城跡保存整備	<p>国史跡本佐倉城跡保存整備のため城山郭等の危険木・障害木の一部伐採を行うほか、周知普及のため佐倉市と共催で講演会・城跡見学会を行うとともに、入口広場整備事業に伴い案内所・トイレ、倉庫の建築工事を継続して実施し、完成後は案内所内に本佐倉城跡と千葉氏の歴史を紹介するパネル等を展示します。</p>	<p>地元住民からの要望により、倉跡の民家裏の危険木・危険竹の伐採を3月上旬に実施し、終了しました。またR3.2.20に講演会・見学会の準備を進めていましたが、コロナウイルス感染拡大予防のため中止しました。</p> <p>案内所・トイレ、倉庫の建築工事は8/31に工事終了、町の検査も終了し、引き渡しを受けました。所内の備品等整備、展示の製作も1月下旬までに終了し、R3.1.30に関係者・地元等を対象とした開所式を実施しました。また、コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言により、開所日以降、年度内は閉所となり、令和3年度当初からの再開を行うこととなりました。</p>	<p>国史跡本佐倉城跡案内所を中心にさらなる本佐倉城跡のPR・利用を推進させ、来城者の増加・利便性の向上を図ることができ、町の観光拠点の一つとしてさらなる活用が見込まれます。</p>	△	生涯学習課
⑥まちの顔づくり推進事業	<p>江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並みの保存整備を行い、観光拠点である「旧相川邸」及び「下がり松」を観光資源として活用することで、交流人口の増加を図ります。</p>	<p>本年度は観光拠点の管理事業を実施しました。町登録文化財「相川文子家」の隣地境板塀修理は7/8に工事完了しました。印旛沼眺望名勝地「下がり松」の景観阻害木の剪定についても1/26に完了しました。</p>	<p>まちの顔づくり推進事業を進めることにより、旧酒々井宿内の文化財により効果的で幅の広い活用事業を行うことができ、文化財保護の普及に努めることができます。</p>	○	生涯学習課

⑦墨古沢遺跡	<p>昨年10月に国史跡となった、約3万4千年前の日本最古の人類生活痕跡であり日本最大級の環状ブロック群を有する「墨古沢遺跡」について、今後の遺跡を適切に保存・活用していくための基本方針や方法、現状変更等の取扱基準の策定を目的とした『保存活用計画』の作成を引き続き実施するほか、計画策定を進めるための有識者による保存活用計画策定委員会を開催します。</p>	<p>有識者・史跡関係者で組織する保存活用計画策定委員会を3回(7/20、11/2、2/24)、パブリックコメントを1/25～2/8に実施し、内容検討を行いながら原稿作成を進め、3/25に『史跡墨古沢遺跡保存活用計画書』を刊行することができました。 また12/5には国史跡指定1周年記念シンポジウムを開催し、一般の方132名の参加をいただき、史跡の周知について図ることができました。</p>	<p>墨古沢遺跡が国史跡指定となり、保存活用計画を策定することで、今後の貴重な遺跡の保存・活用や周知を図ることができ、国・県の補助金を活用しながら整備事業を円滑に進めていくことができます。</p>	○	生涯学習課
⑧青少年健全育成	<p>小学校6年生を対象に、日本有数の星空などの観光資源や美しい自然環境の中での体験学習ができる「北海道陸別町」、さらに、小学校5年生を対象に、酒々井町と同じ「日本一古い歴史ある町」として知られ、美しい大自然の中で野外活動体験ができる「群馬県長野原町」において、それぞれの児童との交流を図ります。</p>	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により両交流事業ともに中止としました。</p>		-	中央公民館
◆生活環境施策					
①消防・防災	<p>災害時に備え防災訓練を実施するとともに、災害用備蓄品等の整備を図ります。 また、町内に結成されている自主防災組織に対して、防災資機材の購入に際し支援を行うとともに、防災基盤の強化を促進します。その一環として、防災行政無線の機器更新及びデジタル化の整備事業についても、継続して進めていきます。</p>	<p>・防災訓練について、新型コロナウイルス感染症の影響により総合防災訓練は中止としましたが、町職員を対象とした、避難所開設、運営訓練及び災害対策本部運営(図上)訓練を実施しました。また、災害用備蓄品等整備については、食料品の更新を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策用品の整備を図りました。 ・自主防災組織の防災資機材購入に対する支援については、1団体に対し「酒々井町自主防災組織補助金」を交付しました。 ・防災行政無線デジタル化については、5か年事業の最終年として屋外拡声子局は5局を更新、1局を新規設置するとともに、町公共施設等に戸別受信機を設置し、令和3年2月16日にデジタル電波へ移行しました。</p>	<p>・防災訓練については、避難所開設・運営訓練及び災害対策本部運営(図上)訓練を実施し、職員のスキル向上、防災への意識付けが図れました。 ・自主防災組織への補助金については、購入資機材の品目等について自主防災組織に対し協議・助言を行い、適切な補助金の交付ができ、地域の防災基盤の強化を促進できました。 ・防災行政無線デジタル化については、アナログ電波からデジタル電波への移行に伴う機器更新等により、災害発生時における多様な情報伝達手段が図れました。</p>	○	総務課

②交通安全・防犯	自治会や防犯ボランティア団体による防犯パトロール等の活動拠点である駅前交流センターの運営管理を行うとともに、引き続き警察官OBを配置した「防犯ボックス」を運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視を実施し、地域防犯力の向上と、住民が安心して暮らせる地域づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯事業について、町内のボランティア団体と犯罪防止活動の推進及び犯罪情勢の提供を目的に毎月「防犯連絡会議」を実施し、効果的な防犯パトロール活動の推進を図りました。 ・防犯ボックス事業については、自治会や防犯ボランティア団体との合同パトロールをはじめ、街頭監視活動及び児童等の下校時の見守り活動を実施したほか、青色防犯パトロールカーを活用し、防犯ボックス活動エリア外の地域におけるパトロール活動を実施しました。 <p>【令和2年度の活動内容】 合同パトロール84回(13団体)延べ参加人数636名、自主防犯団体への指導助言80回、見守り活動670回、店舗等への防犯指導281回、街頭監視1,679回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボックス事業については、勤務員と自主防犯団体(地域住民)との合同パトロールや地域の見守り活動を通じてより多くの住民に「自分たちの地域は自分達で守る」という意識を持ってもらうことができます。また、街頭監視及び下校時間帯や帰宅時間帯における児童や女性等の見守り活動などにより、地域の安心感、治安向上に付与しています。 	○	総務課
③環境部門	<p>狂犬病予防注射の管理、啓発を行うとともに、飼い主のいない猫の避妊・去勢手術を実施した地域猫活動団体に補助金の交付を行います。</p> <p>また、家庭における地球温暖化対策促進のため、住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、定置用リチウムイオン蓄電池システムを設置する町民の方に補助金の交付を行います。</p> <p>さらに、気象変動に伴う台風や大雨などの災害発生に備えた災害廃棄物処理基本計画を策定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射接種率は74.87%(登録件数828頭、注射済登録620件) ・飼い主のいない猫手術費(オス12匹分、メス14匹分)を補助しました。 ・住宅用省エネルギー設備等設置した(太陽光発電7件、エネファーム1件、蓄電池15件)費用の一部を補助しました。 ・災害廃棄物処理基本計画を策定しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・督促を年度に2回実施したことで、狂犬病予防注射接種率が向上しました。 ・飼い主のいない猫の繁殖を一定程度、抑えることができました。 ・家庭におけるCO2排出を一定程度、抑えることができました。 ・災害廃棄物処理の指針を基本計画で示すことができました。 	○	経済環境課
◆都市基盤施策					
①災害応急・復旧事業	災害応急・復旧事業として、昨年の台風、大雨で被災した住宅を修繕する際の応急修理や住宅修繕を、災害救助法に基づき支援します。	<p>り災証明書発行件数 全壊1件、半壊9件、準半壊7件、一部損壊437件</p> <p>災害救助法に基づく応急修理 受付件数・修理依頼金額 3件・1,195千円(前年度からの累計 6件・2,390千円)</p> <p>被災住宅修繕緊急支援事業補助金 受付件数・補助金額 37件・6,044千円(前年度からの累計55件・8,918千円)</p>	災害により被害を受けた住宅の修繕費用を補助することで、被災者の生活の安定と安全確保に寄与しました。	○	まちづくり課
②まちづくり施策	地震発生時におけるコンクリートブロック塀等の倒壊による被害を防止するため、危険なブロック塀等の撤去費用の補助を行います。	<p>広報4月号で周知を図りましたが、実績はありませんでした。(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険コンクリートブロック塀除却:10件(実施状況) ・危険コンクリートブロック塀除却:0件 	地震発生時におけるコンクリートブロック塀等の倒壊による被害を防止する効果があります。	▲	まちづくり課

③道路整備・維持管理	<p>通学路等の安全確保を優先とした改良工事や無電柱化整備、町道の路面性状調査や橋梁長寿命化修繕事業などを、国の交付金を有効に活用しながら順次実施します。</p> <p>また、昨年完成したJR酒々井駅自転車等駐車を含め、京成酒々井駅及びJR南酒々井駅前の自転車等駐車の管理を行います。</p>	<p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町道02-009号線電線共同溝工事(L=240m)を実施する。 町道120kmの路面性状調査を実施する。 橋梁長寿命化修繕計画に沿って高野台橋の修繕工事を実施する。 駐輪場について、定期的な点検を実施し、場内の利用環境を保つ。 <p>(実施状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町道02-009号線電線共同溝工事(L=240m)を発注。 路面性状調査完了。 高野台橋修繕工事完了。 毎週1回駐輪場内の点検を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝を実施することにより、防災機能及び景観が向上します。 路面性状調査を実施することにより、町内の道路補修を効率よく実施することができます。 橋梁修繕を計画的に実施することで致命的な損傷を防ぎ長期にわたる利用ができます。 駐輪場内の点検をすることで利用状況の把握及び円滑な運用を行うことができます。 	○	まちづくり課
◆産業経済施策					
①農業施策	<p>イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策に取り組みます。</p> <p>また、農用地・水路等の地域資源の多面的機能の保全管理を行う地域団体に対して多面的機能支払交付金を交付します。</p>	<p>①イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策については、箱わな3基の新規設置・電気柵設置補助金6名の申請がありました。</p> <p>②多面的機能支払交付金については、根古谷環境保全会に対し、1,054,560円を交付し、3月末までに予定されていた農地維持活動及び資向上活動を実施しました。</p>	<p>①イノシシ等の有害鳥獣被害防止について各種対策を講じることにより農作物被害の防止が期待できます。</p> <p>②多面的機能支払交付金を活用して農地維持・資源向上に関する各種活動を実施することにより、国土の保全・水源の涵養・自然環境の保全・良好な景観の形成・文化の継承等の農業・農村の有する多面的機能の発揮が期待できます。</p>	○	経済環境課
②ICを活用した地域振興	<p>酒々井インターチェンジ周辺の土地利用について、富里市・八街市・酒々井町の2市1町で構成する「酒々井インター周辺活性化協議会」により、多様なまちづくりの観点からICの効果を十分発揮できるよう利活用を検討します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、富里市・八街市・酒々井町で構成する「酒々井インター周辺活性化協議会」の総会等を書面開催し、酒々井インターチェンジの効果を十分発揮できるような利活用を検討するため、今後の事業や取組みなどについて、書面による意見交換を実施しました。</p>	<p>酒々井インターチェンジ周辺の利活用の検討にあたり、構成市町の課題や取組状況について情報等を共有することができました。</p>	○	企画財政課
③観光事業	<p>昨年、酒々井プレミアム・アウトレットの隣接地でオープンした「まるごとすい」において、定期的なイベント等の開催、町の観光物産等を展示紹介する情報発信コーナーを設置し、町のイメージアップと街中への誘客を図ります。</p>	<p>町の観光物産等を展示紹介するとともに、土日にはまるごとすいを利用して「楽市」が開催されました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言発令等により、休館することが多い状況でしたが、6月691人、7月878人、8月1,419人、9月1,216人、10月1,015人、11月1,127人、12月945人と来館者数は増えています。</p>	○	経済環境課

◆地域社会と行財政施策					
①住民参加・協働	地域住民が主体となって実施する都市公園等の環境美化活動等への支援や生活環境整備工事に必要な資材等の支給を行うなど、住民公益活動を支援します。	1. 公園等愛護活動推進事業 実施団体:13団体 実施公園等:20箇所 2. 花いっぱい運動 実施団体:10団体 実施回数:2回(6月・11月) 3. 資材等支給事業 実施地区:3地区 4. 住民公益活動補助事業 実施団体:事業中止のため、なし	1. 公園等愛護活動推進事業 13団体が20箇所の公園等で清掃・除草作業等を行い、環境の美化が進みました。 2. 花いっぱい運動 町内各所において、8団体が6月に2,660本、11月には10団体が2,810本の花苗を植えました。 3. 資材等支給事業 8月に本佐倉地区の農道整備、11月に飯積地区の景観整備、3月に上岩橋地区の町道整備を行いました。 4. 住民公益活動補助事業 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、団体が活動を自粛していることから事業を中止しました。	○	住民協働課
②GIS地図情報システム	町と住民等の行政情報と地域情報を共有できるGIS地図情報システムを活用した住民の安全・安心なまちづくりを進めます。	1. 100年安全・安心に住めるしすいづくり事業 災害対応アプリケーションの運用・公開 庁内情報共有	1. 100年安全・安心に住めるしすいづくり事業 災害対応アプリケーションの公開に向け、ワーキンググループを5回開催するとともに、庁内情報共有については各課担当による準備作業を進めることができました。	○	住民協働課
③町税	賦課徴収事業では各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収を行います。 また、相続人の存在・不存在が明らかでない土地等に係る課税上の課題へ対応するため、裁判所への財産管理人選任申立てを活用してこの問題の解決に取り組みます。	各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収を行うことができました。 また、裁判所への財産管理人選任申立てを行い、相続人が全員相続放棄をしている被相続人の土地等に係る課税上の問題解決に向けて進めることができました。	相続人不存在のため収納が見込めない資産に対し、最終的に資産が処分されることで税収納を見込むことができると同時に課税に苦慮する相続人不明資産の整理を行うこともできます。	○	税務住民課